

デザイン科 イラストレーション専攻

デザイン研究1

対象	1年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	角田知義			実務経験	無	職種	0				

授業概要

さまざまなデザイナー、表現者の作品を鑑賞する。

到達目標

歴史的な推移のなかで「社会、文化、産業、美術、デザイン」の関わりを西洋と日本からの2つの視点で見る事で「現代の美術とデザインの理解を深める」ことを目標とする。

授業方法

長い歴史を持つ美術、本授業は現代デザインが育ちはじめた19世紀からスタートする。よく知られている「印象派」、当時は革命的な出来事だった。美術の基本的な概念「美しさ」や「美術らしさ」「見る事への探求心」「意味をかたちづくる」「造形する技術」等、美術とデザインが持つ同じ課題に対して、過去の著名な作家達がいかに「イノベーション」を起こし、新しい創造をしてきたかという事例を参考しながら学ぶ。

成績評価方法

最終レポート55%学期末のレポート課題中間レポート20% 授業期間中、デザイン概念の理解促進のためレポート課題振り返りシート15% 毎時間、受講した授業内容を振り返りまとめ、時間終了時に必ず提出すること受講態度10%出席状況、遅刻の有無、受講態度を評価する

履修上の注意

授業に集中してノートをとることが必要。各自の理解度の確認、講義内容に対しての質疑応答のため、毎時間「授業の振り返りシート」を記入、授業時間終了時に提出。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は評価を受けることができない。

教科書教材

参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。

回数	授業計画
第1回	美術概論を学ぶ基礎①
第2回	美術概論を学ぶ基礎②
第3回	#REF!

第4回	20世紀、抽象表現 とデザイン①
第5回	20世紀、抽象表現 とデザイン③
第6回	20世紀、抽象表現 とデザイン④
第7回	20世紀、抽象表現 とデザイン⑤
第8回	20世紀、抽象表現 とデザイン⑥
第9回	西洋美術史の基礎①
第10回	西洋美術史の基礎②
第11回	西洋美術史の基礎③
第12回	日本の美術の多様さ①
第13回	日本の美術の多様さ②
第14回	日本の美術の多様さ③
第15回	現代のアートを俯瞰する